

熊出没に対する対応について

熊は、冬眠することが広く知られていますが、一方で冬眠しない個体も発見されており、冬期間でも被害にあわないよう、対策することが重要です。

熊による被害等を防ぐため、次のような対応策を実施いただきますよう、ご協力をよろしくお願いいたします。

【日常生活における対策として】～熊に会わないために～

- ごみ捨ての日を守る。自宅等にコンポスト（たい肥作り容器）がある方は、しっかりと蓋を閉め、においが漏れないようにする
 - 収穫等をしていない果樹類は伐採を考える、落下した実は回収をする
 - 出かける際は、家族などに行先を伝え、熊鈴や熊スプレーのほか夜間は電灯を持ち歩く
 - 玄関や作業小屋など、建物の施錠をしっかり行う
 - 出かける前、作業小屋等に入る前、ほ場に入る前などに周囲を確認してから次の行動を行う
- 熊が人里へ来る理由(食べ物等)を作らないようにしましょう！**

もしも熊に会ってしまったら、、、

距離が遠い場合

- お互い気づいたとき
落ち着いて逆方向にその場を後退しましょう。（走らない、背中をみせない）
- 熊がこちらに気付いていないとき
物音を立てるなどして熊に気づいてもらい、様子を見ながら静かに後退しましょう。



至近距離の場合

- 至近距離は襲われる可能性が高い
襲われたら確実に回避する方法はありません。熊が一撃を行いその場を逸走するケースが多いですが、執拗に攻撃してくる場合もあります。
- 致命傷を避ける体制をとる
多くは頭部や首を狙うと言われます。
亀のようにうつ伏せになりましょう。
両腕で首、顔、頭を守ります。
逃げるチャンスがあれば逃げましょう。
この場合は走っても構いません。



距離が近い場合

- その場から威嚇してくる
落ち着いてゆっくり後退し、距離をとりましょう。木などの障害物が熊との間にくるようにしましょう。
- 走って向かってきた
「ブラフチャージ」という威嚇の突進行動のケースが多いので、落ち着いて自分の体を大きく見せましょう（両手を上げるなど）



- ☆大声をあげたり、走ったりして熊を興奮させないようにしましょう。
多くの場合は、熊が人の気配に気づいて、逃げたり隠れたりするケースが多いです。
- ☆後退する時は、「来るなよ～」 「山に帰りなさい」 など語りかけながら後退しましょう。

絶対にやってはいけないこと

- 背中を見せて走って逃げる
熊は逃げるものを追いかける習性があります。
- 子熊に近づく
近くに母熊がいる可能性が高いです。
- 道路にいる熊に車中からエサをやる
味や場所、食べた時間を覚え、頻繁に出没するようになります。